

の導入講座

病院におけるIHE導入の実際

IHE-J臨床企画委員会 奥 真也

東京大学22世紀医療センター健診情報学講座
埼玉医科大学総合医療センター放射線科

1/30



北米放射線学会 (RSNA) (米国) 病院管理システム学会 (HIMMS)
がスポンサーとなって制定された「標準規約」



日本の医療機関における適合のための制定作業によるローカライズ版
「標準規約」(日本版拡張)(経済産業省、日本画像システム工業会 (JIRA)、
JSRT、JRS、JAMI等が関与)

2/30



いやあ、ほんま、ええねえ～

I ... H ... E

3/30



J

いやあ、ほんま、ええねえ～ 上等やわ！

I ... H ... E J!

4/30

◆ 「医療情報標準化指針」提案申請・採択状況

申請受付番号	提案規格名	状況	申請日	採択日
001	標準医薬品マスター (通称HOT番号) (提出団体: (財) 医療情報システム開発センター) HS001標準医薬品マスター(通称)HOT番号(PDFファイル)	採択	2002/03/04	2003/05/23
002	JAHIS 臨床検査データ交換規約 Ver. 2.0 (提出団体: 保健医療福祉情報システム工業会) HS002JAHIS臨床検査データ交換規約Ver.2.0(PDFファイル)	採択	2002/05/13	2003/07/30
003	JAHIS 臨床検査データ交換規約 <オンライン版> Ver. 2.0 (提出団体: 保健医療福祉情報システム工業会) HS003JAHIS臨床検査データ交換規約<オンライン版>Ver.2.0(PDFファイル)	採択	2002/05/13	2003/07/30
004	DICOM規格 (提出団体: (社) 日本画像医療システム工業会) HS004 DICOM規格(PDFファイル)	採択	2003/02/19	2003/11/28
005	ICD10対応電子カルテ用標準病名マスター Ver. 2.30 (提出団体: (財) 医療情報システム開発センター)	審議中	2004/06/16	

標準化

On the Land

標準化

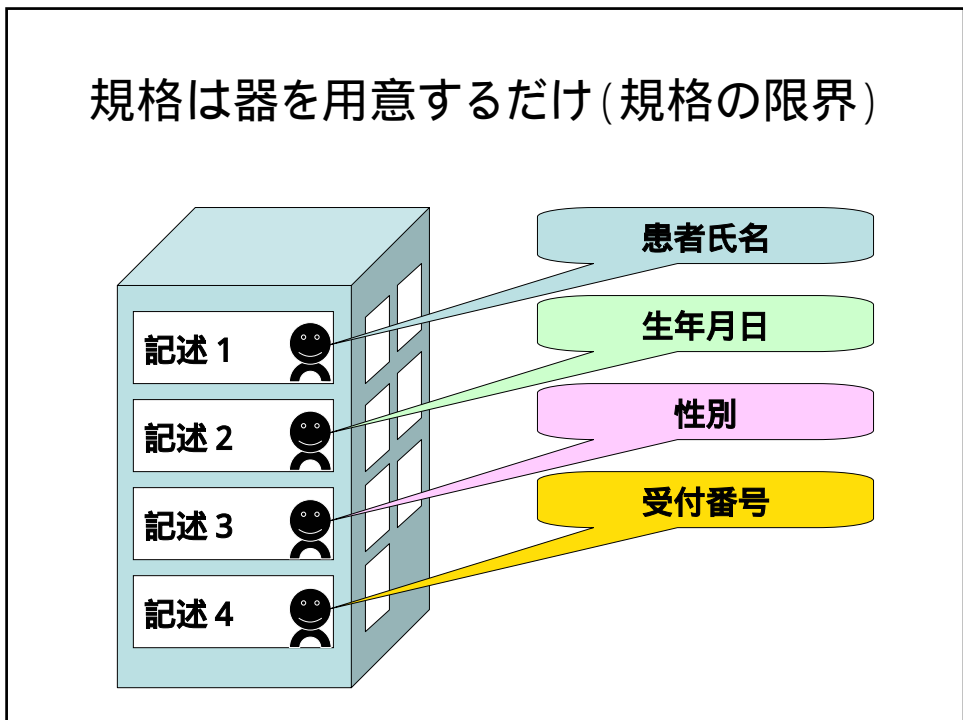
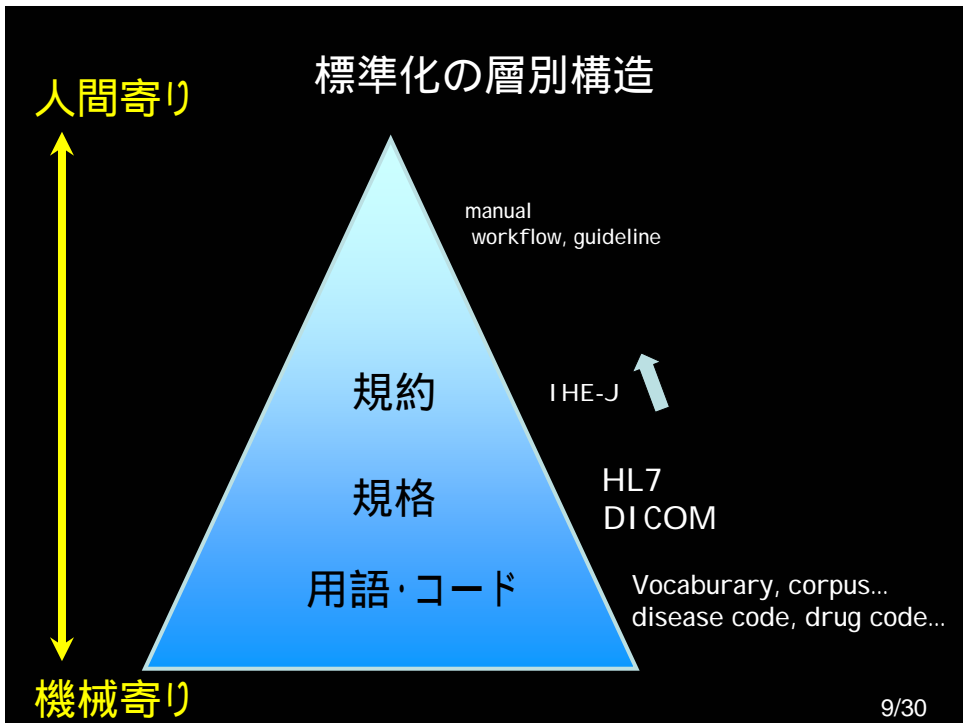
On the Sea

7/30

情報の標準化の二要素

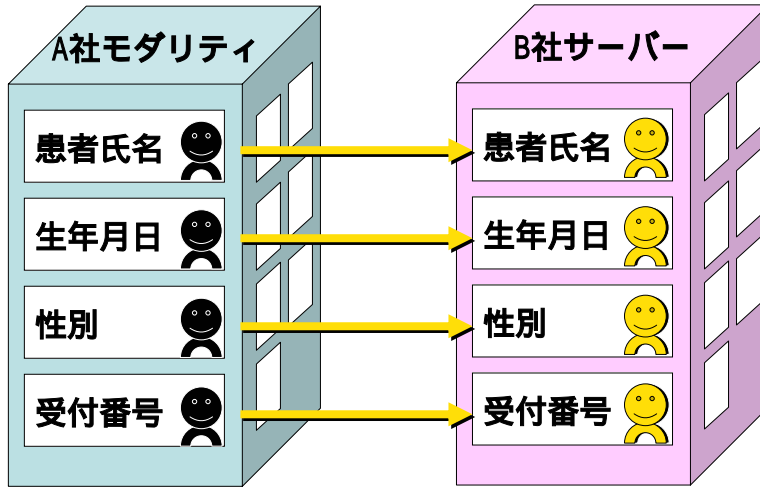
- 1) 情報の**形式**の標準化
- 2) 情報の**内容**の標準化

8/30



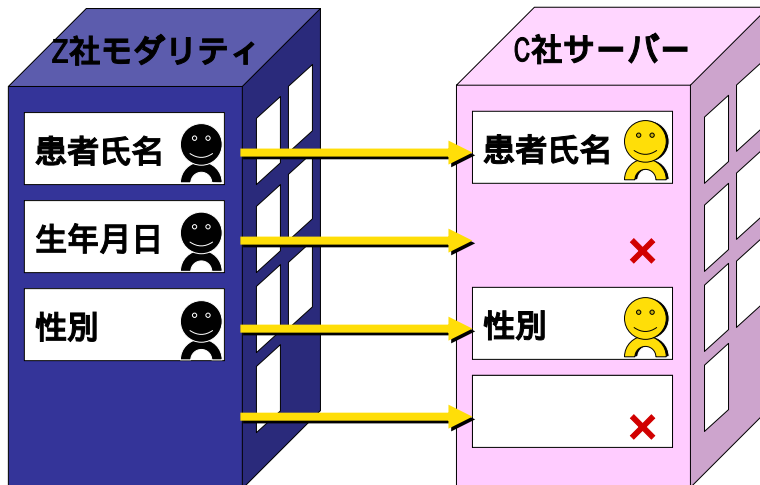
規格は器を用意するだけ(規格の限界)

うまく行く場合もあるけど...

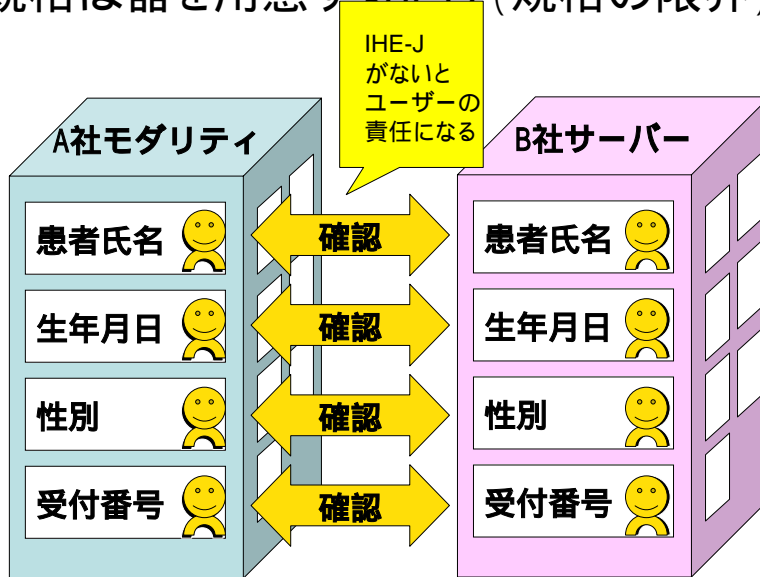


規格は器を用意するだけ(規格の限界)

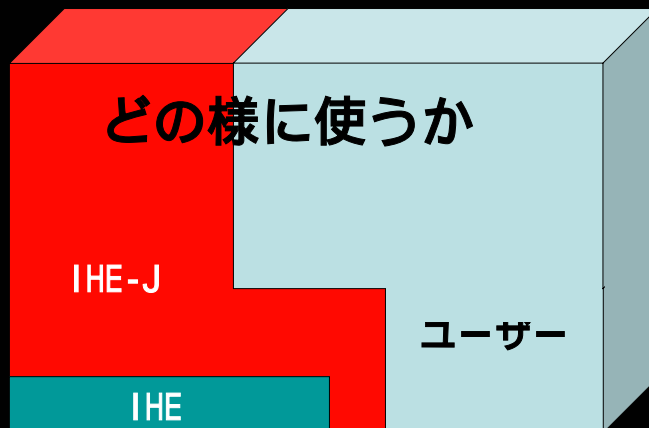
そうはいかない場合もあり



規格は器を用意するだけ(規格の限界)



IHE-Jの位置付け(どの様に使うか)



でも...

不安

疑問

IHE-Jは**規約**だから**規格**(だけ)よりはマシとは云うけれど、

IHE-Jとは「ガイドライン」であるとか
IHE-Jの「統合プロファイル」「スコープ」はすべての情報伝達を網羅していない

とも聞いたような...

猜疑

ホントに大丈夫なの？
(システム導入者としての責任は果たせるの...?)

15/30

二律**非**背反

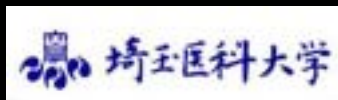
IHEはシステムの全部を決めるもの
ではありません。

でも、IHE君を信じて従っていて、
ホントに**大丈夫**です。

16/30

IHE-Jを用いた相互運用性に関する 放射線部門を題材としたショールーム型実証事業

2004/09 ~ 2005/3



- ▶ IHE-Jの手法でマルチベンダーシステムを実現した放射線システムとして、実際に臨床現場で稼働させる。
(IHE-Jガイドラインの実力を示す)
- ▶ 初のIHE-Jサブシステムとしてショールームに見学者(病院・企業)を受け入れて実際に体感学習してもらう。

17/30

ショールーム型IHE-J実証事業埼玉コンソーシアム

ショールーム型IHE-J実証事業埼玉コンソーシアム	
実証実験事務局・実証方針の決定・仕様策定・進捗管理 埼玉医科大学	担当内容 ・要求仕様策定 ・トランザクション決定 ・スコープ内外切り分け
Order Placer・ADT担当 富士通株式会社	担当仕様内容 ・SWF統合プロファイル ・PIR統合プロファイル
DDS/Order Filler担当 横河電機株式会社	担当仕様内容 ・SWF統合プロファイル ・PIR統合プロファイル
Image Manager・Image Archive・Image Display担当 コニカミノルタエムジー株式会社	担当仕様内容 ・SWF統合プロファイル ・PIR統合プロファイル ・CPI統合プロファイル
Report Creator・Report Manager等 担当 株式会社日立メディコ	担当仕様内容 ・Reportワークフロー(一部) ・SINR統合プロファイル

(本事業が選任した有識者による現地検証・指導)

18/30

埼玉医大の実証事業のポイント

▶ IHE-Jの普及促進

- ・実際の臨床現場における運用事例の提示
- ・問題点の洗い出しと解決方法の紹介

導入検討に弾み

▶ リアルショールーム

- ・実際に稼動しているシステムの様子を見学可能な環境構築
- ・見学者に対する説明小冊子の配布及び質疑応答

とにかく見てもらう

▶ バーチャルショールーム

- ・インターネットを利用したリアルショールームに準じた見学
- ・説明小冊子のダウンロード

何度もどこでも見てもらう

19/30

A Success Story



しっかり頼むよ
...後が続くんだ
から...



20/30

さて、「IHE-Jでやる」ということはどういうこと？

一番大事なのは「何がやりたいか」(臨床的動機)がはっきりしていること

導入構想者 = 技術者 である必要はない

とは云え、IHE-J(の守備範囲 = スコープ)をよく理解する必要がある。

21/30

さて、「IHE-Jでやる」ということはどういうこと？

一番大事なのは「何がやりたいか」(臨床的動機)がはっきりしていること

導入構想者 技術者

とは云え、IHE-J(の守備範囲 = スコープ)をよく理解する必要がある。

22/30

では、どうやってやる？

最初の一步は、「要求仕様」を伝えること

まずは「IHE-J」と叫ぶ

相手の反応をみながら「SWF」「PIR」とジャブを繰り返す

ワークショップで質問！

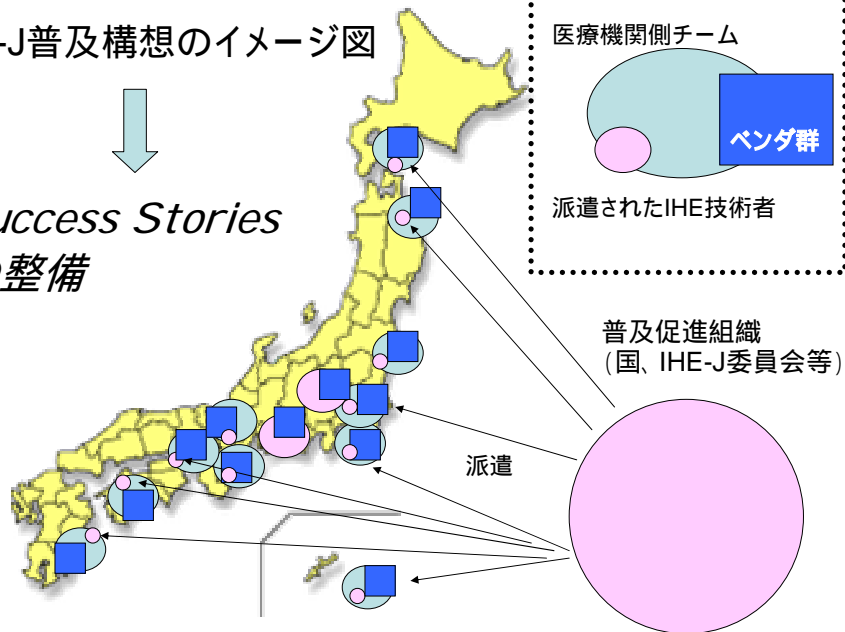


「やりたい！」と思う病院ならばやれる「世の中の仕組み」を利用【そうできるようにします】

23/30

IHE-J普及構想のイメージ図

Success Stories
の整備



24/30

実際の導入におけるハードル (政治篇)



経営者の視点

そんな怪し気なものに大事な病院を任せられるか
IHE-Jはお金がかかるのでは？
確実に動かなければどうしてくれる？

現場

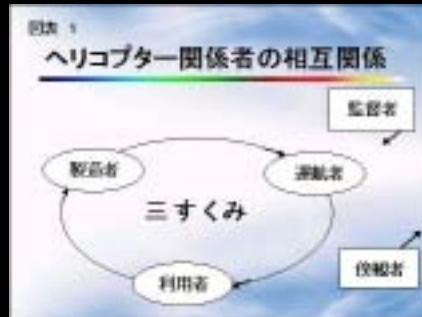
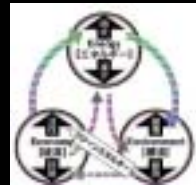
ローカルな機器・システムですでに勝手を知ったものを入れたい...
(あえて冒険しなくても...)

電子カルテ、医療情報を「取り仕切る」部門

IHE-Jってどこのメーカー？(無知あるいは...)
IHE-Jは標準ではないのでは？
(上流の)導入スケジュールが遅れるのでは？

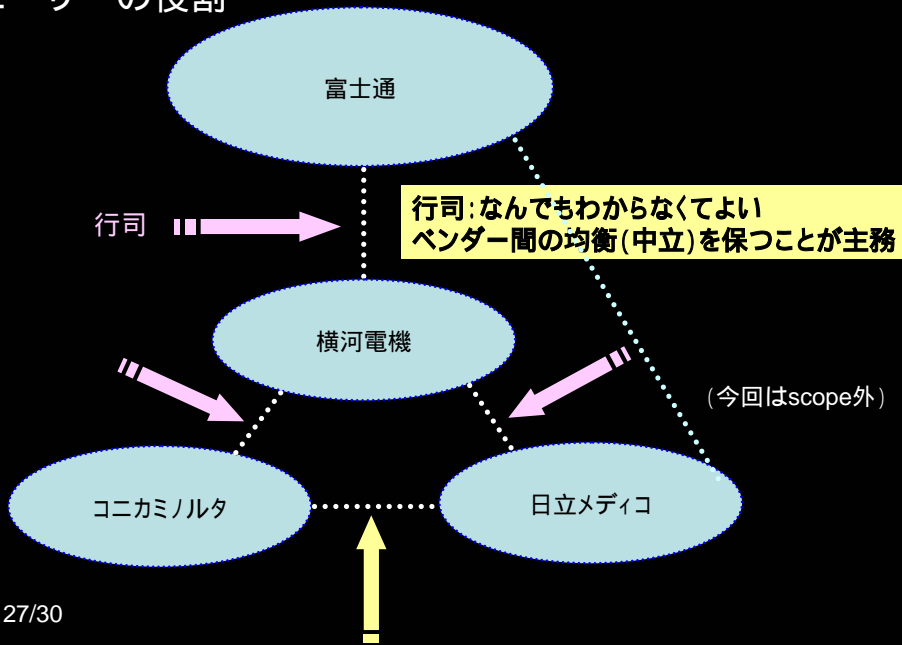
25/30

三すくみ



26/30

ユーザーの役割



実際の導入におけるハードル (技術篇)



マルチベンダ下のスタンスの探りあい

各ベンダ

トランザクション等について踏み込んだ提案をしにくい
主導的に動けると限らない
IHE-Jスコープについての見解の相違
標準化の取り組みへ姿勢の差(解消へ)

* 本項については経済産業省事業報告を待たれたい
(できるだけ公開します)

本演題のまとめ

IHE-Jは、(部門)システム導入に際して、採用すべく検討してよい段階に来ている

まずは「病院としてやりたいこと」とIHE-Jの実力・現在座標の関係を見極めることが大切
(何が出来て、何が出来ないか)

IHE-J普及のため次のステップとして、ユーザー医療機関、各学会、IHE-J委員会、ベンダーのトータルな協力関係が必要。

29/30

要求仕様書

IHE-J

以上

* 最初から完璧である必要はありません

30/30